



【2019-02-13】

遊道楽歩（雑感）

書を友に、酒を楽しみ、  
人生を味わう

今週の雑感  
背景はなにかを問えば、  
問題は解決するのか

長野修二

## 背景はなにかを問えば、問題は解決するのか

---

今の時代あらゆるところで不正や犯罪、あるいは人間の死に至る問題が発生しています。

しばしば、テレビのコメンテーターが事件の背景はなんでしょいかといった質問をしていますが、事件の背景や本質はほんとうにわかるのでしょうか。

答えは、簡単です。

わかりません。

理由は、あらゆる問題の本質に人間が存在するからです。

人間というものは大変やっかいな生き物かも知れません。

常に理由を追い求めるからです。

確かに理由はあるでしょう。

しかし、その理由はその人本人、いわば事件の核心を担う人間以外に理解できないからです。

それでも社会は、社会のルールなどによって事件の核心部分にいた人を非難し、そのような事件が起こらないように新たな仕組みを提案し、人間を取り巻く制度を改善していきます。

それで問題は起こらないのでしょうか。

また、新たな問題が発生するでしょう。

これも理由は、人間がいるからです。

どこまでいっても人間に帰結する問題に解決策はないのではないのでしょうか。

それが人間の歴史のようです。

このような時代にいるからこそ人は、自分はどう生きるかを常に考えておくことが必要になるのかもわかりません。

メディアに出ない人も多くいるのですが、メディアにでなくとも多くの事件があり、人間ひとりひとりに問題があるケースも多いことでしょう。

だからこそ、日ごろから自分の生き方を考えておくことが必要になるのではないのでしょうか。

当然、そこには人間ですから、ふらふらしながら自分の人生を自分の足で歩きながら自分の生き方を作っていくという長い時間軸

の旅かも知れませんが、多くの事件からみえてくる教訓は、常

に自分の生き方をみつめておくことの重要性を教えてくれているように思えてなりません。

自分でどうにもならないものは、早い段階で救済されるような社会システムが存在することが望ましいのですが、それとて多くの人間が介在することで上手く機能しない場合があることを理解しておくことが必要でしょうか。

人間のドラマは、時代が変わろうとも永遠に続いていくのが真理なのかも知れませんが、自分がそのような立場になったきのことを考えながら生きていくのはなかなかむずかしいものです。それでも日々の生活の中で覚悟を決める瞬間があることを肝に命じて人生を歩いていきたものです。